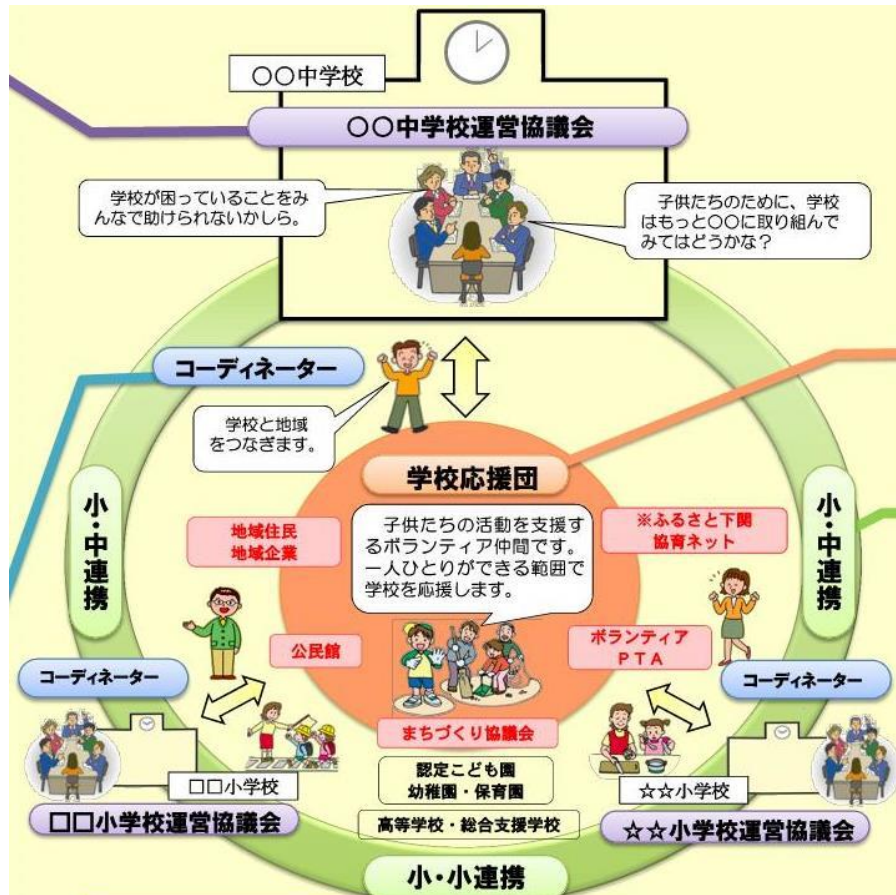


下関市における「やまぐち型地域連携教育」推進構想

① 基本方針

下関市教育委員会では、同じ中学校区内の小中学校が連携・協働を図るとともに、地域の人々と目標（めざす子供像・学校教育目標等）を共有しながら、一体となって子供たちを育てていくことができる「**地域とともにある学校**」をめざしています。

② 推進体制



③ 具体的な取組

【平成 29 年度 下関市コミュニティ・スクール推進事業】

今年度は「コミュニティ・スクール充実の年～地域と連携した『ふるさとを愛する心』の育成～」というテーマのもと、以下の 4 点に取り組んでいます。

- ① 学校運営協議会の機能向上と学校運営への活用（委員対象のコミスク研修会開催 等）
- ② 各学校における特色ある活動のさらなる充実（地域連携カリキュラムの共有 等）
- ③ コーディネーターの活動促進と諸団体との連携（年 2 回の情報交換会の開催 等）
- ④ やまぐち型地域連携教育推進事業の活用

（8 モデル中学校区を中心とした山口 CS コンダクターの活用 等）

※平成 29 年度下関市立小・中・高等学校コミュニティ・スクール実践事例集の発行

※平成 29 年度財政的支援（全小・中学校 71 校に 4 費目合計 148,000 円の支援）

学校運営に係る取組

下関市立名池小学校



名陵中学校校区合同の学校運営協議会や研修会を行う中で、中学校区で統一した学校評価アンケートの集計結果から、課題解決に向けての熟議を行った。

下関市立向井小学校



向井小コミュニティ・スクールのイメージキャラクターの名前を児童から募集し、学校運営協議会で決定した。

下関市立阿川小学校



ユニット型校内授業研究会を実施した。教員とは別の視点から意見をいただき、授業改善に生かすことができた。

下関市立川中中学校



7月と11月、中学校区で地域研修会（熟議）を実施した。2回目の熟議には、大人だけでなく中学生も参加し、グループ発表は生徒が行った。

下関市立山の田中学校



校区内の小学校2校と中学校1校のネットワーク（にじいろネット協議会）での熟議に中学校の生徒会が参加し、「私たちができること」について具体的に議論した。

下関市立夢が丘中学校



毎回の学校運営協議会で教職員と地域の方が熟議を行い、「ふるさとを愛する心の育成」に向けた地域連携の取組（保育実習、救急救命講習、地域清掃、小学校への吹奏楽演奏会等）が提案され、実践した。

コミュニティ・スクール充実の年

下関市教育委員会 山口CSコンダクター

白岡 勝典



下関市では今年度「コミュニティ・スクール充実の年～地域と連携した『ふるさとを愛する心』の育成～」をスローガンに、①学校運営協議会の機能向上と学校運営への活用 ②各学校における特色ある活動のさらなる充実 ③コーディネーターの活動促進と諸団体との連携 ④やまぐち型地域連携教育推進事業の活用を重点取組事項として、同じ地域内の小・中学校が連携・協働を図るとともに、地域の人々と目標（めざす子ども像）を共有しながら、学校と地域が一体となって子どもたちを育てていくことができる「地域とともにある学校」をめざしてきました。

人口減少、少子高齢化等による地域コミュニティの衰退が懸念される中、学校課題の解決だけでなく、地域活性化のためにも、子どもたちの輝く笑顔のためにも、学校を核とした地域づくり、学校・家庭・地域の連携・協働の必要性を強く感じた1年でした。

学校支援に係る取組

下関市立王江小学校



道徳授業のゲストティーチャーとして地域の方に参加してもらった。地域の方との対話を通して、多様な考え方に触れ、道徳的価値を深めることができた。

下関市立本村小学校



「ふるさと彦島探検学習」に出かける前に、それぞれの地域にまつわる紙芝居を見せていただき、学習への意欲を高めることができた。

下関市立向井小学校



保護者や地域の方々に支援していただき、校区内の危険箇所をチェックし、安全マップをつくった。

下関市立安岡小学校



4年生が、まちづくり協議会の支援を受けながらホタルの飼育活動を行っている。放流式では、約500匹の幼虫を地元の友田川に放流した。

下関市立長府小学校



12月にもちつき、ミニ門松作りを実施した。きねとうすでもちをつき、松寿会（老人会）の方に、もちの丸め方や門松の作り方を教えていただき、伝統的文化（行事）を学ぶよい機会となった。

下関市立滝部小学校



田耕小学校から引き継いだ俳句学習を、地域の田上菊舎顕彰会の支援のもと推進している。今年度から新たに週1回の「俳句タイム」を設け、レベルの向上を図った。

下関市立吉見中学校



百人一首の得意な地域の方に、国語の授業の一環として指導していただいた。本物の百人一首を知る良い機会となった。

下関市立山の田中学校



毎月第1火曜日に余暇教室を活用し「ぷらっと山の田」を実施している。地域の方が指導者となり、様々な活動を行っている。（写真はタングラムというパズル）

下関市立夢が丘中学校



家庭科の授業で、地元の漁師の指導による魚料理講習会を開催した。生徒は、新鮮なアジとサバを一人一匹ずつ、漁師の手助けを借りながらさばっていた。

地域貢献に係る取組

下関市立名池小学校、
王江小学校、名陵中学校



名陵中学校区3校の児童生徒が縦割り班を作り、中学生がリーダーとなって「ふれあいクリーン運動」を実施した。名陵中、王江小、名池小の学校周辺や校地内の除草、清掃活動を行った。

下関市立生野小学校



地域の盆踊りに、八朔太鼓保存会に所属する子どもたちが参加した。日頃の練習の成果を披露し、盛大な祭りとなった。

下関市立本村小学校



「平家踊りを受け継ぐ子の会」(本校児童22名所属)の児童が、指導者からの指導のもとに毎週木曜日に平家踊りの練習をしている。そして、今年も、馬関祭りで平家踊りを披露した。

下関市立江浦小学校



年に3回、校内のクリーンタイムという縦割清掃活動に取り組んでいる。その中の一班が、地域のボランティアの方と共に地域の公園の清掃に取り組んでいる。

下関市立王司小学校



大人の学びを通して、学校が地域住民のきずなを強めていく場になることを願って「大人の学び塾『よっといで〜』」を開催している。休み時間には児童にも見学させ、児童と地域住民とのふれあいの場となっている。

下関市立豊浦小学校



長府地区で17年ぶりに盛大に開催された「長府時代まつり」に参加した。長府地区の幼・小・中・高から多数参加し、地域の方とともに、ふるさとの誇りと歴史を感じる1日となった。

下関市立安岡小学校



JR西日本のトワイライトエクスプレス「瑞風号」が地元駅に記念発着した際に、本校の金管バンドが、まちづくり協議会の依頼を受けて歓迎演奏をした。

下関市立吉母小学校



“吉母の宝”である黒嶋海岸の清掃を、自治連合会・長寿会等の地域住民とともにいった。その後、児童がハマユウの植栽をした。

下関市立川中西小学校



保護者だけでなく、地域の見守り隊やお年寄りなど、多くの方々の参観をいただいて、学習発表会を行った。児童の元気な姿を見せることで、地域も元気になる活動となった。

地域貢献に係る取組

下関市立長府小学校



夏に開催される「ふるさと祭り」で、6年生がソーラン節を披露した。また、祭りの最後の「平家踊り」には、自治会、保護者、児童総勢 1000 人余りが参加。児童の元気が祭りを盛り上げる一助となっている。

下関市立熊野小学校



学校を地域の方や保護者の「大人の学び場」として設定し、フラワーアレンジメント、英会話、韓国語等の教室を定期的に行った。学校が生涯学習と地域交流の場になった。

下関市立神田小学校



今年は「海岸清掃」を授業日に行うことにより、児童が参加することができ、地域・保護者・児童・教職員などが一体となった漂着ゴミの清掃活動が実現した。

下関市立栗野小学校



全校児童が「栗野駅をいこいの場にプロジェクト」の一環として、毎週末にJR長門栗野駅の清掃活動を継続的に実施している。児童は絵画作品や壁新聞を展示したり、交流ポストを設置したりして地域の方々との交流も図っている。

下関市立吉見中学校



地域から依頼を受け、校区の無人駅の活性化につながるイベントに生徒がボランティアで参加した。

下関市立内日中学校



毎月2回木曜日の夕方5時から東亜大学と連携し、地域住民を対象にした運動の公開講座を実施している。運動を通して地域コミュニティの活性化が図られてきている。

地域の主役は子どもと大人

豊洋地区ふるさと協育ネット HoMeS コーディネーター
下関市立豊洋中学校、誠意小学校 コーディネーター

後藤 良江



HoMeS を始めて8年！まだ下関市にコミュニティ・スクールが導入されていない頃、学校支援地域本部（ふるさと下関協育ネット）の一つとして立ち上げました。現在は、コミュニティ・スクールと一体的に活動しています。

子どもはどんどん成長し、地域の大人は変わりなく温かく子どもを見守る豊洋地区。地域の行事では、大人の行事には子どもたちが、子どもたちの行事には大人が手を差しのべます。大人が楽しくボランティアをしている姿を見て育つ子どもたちは笑顔でボランティアに参加でき、たくさんの地域の方々に支えられています。

卒業した子どもが、大人になって地域や学校行事のボランティアに参加してくれていることは、私たち HoMeS の宝です。これからも学力向上、地域の皆様と連携するための絆づくりのお手伝いを、コーディネーターとして頑張っていきます。

学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

下関市立神田小学校



学校運営協議会を主催として「海で遊ぼう」というイベントを夏休みに開催した。「海遊び」「野外炊事」等の活動を苦労しながら行い、普段家庭や学校では得られない体験をすることができた。

下関市立阿川小学校



夏休みの勉強会を、地域の方を講師に招いて実施した。習字や絵画、木工教室、夏休み帳などを使った学習会などを行った。

下関市立粟野小学校



JR長門粟野駅を小さな美術館にして児童の絵を展示し、地域の方々を招待するイベントを年2回開催している。毎回、多くの方が参加してくださり、児童が絵を通して地域の方々と語る対話型鑑賞会や、おもてなしコーナーで盛り上がっている。

下関市立豊浦小学校、
長府中学校



ふるさと下関協育ネット「ほっちゃや」の主催で漢字検定を実施し、中学生も参加している。この他にも、算数思考力検定や英語検定を実施している。

下関市立川中小学校、
熊野小学校、川中中学校



地域の方と一緒に、3校の子どもたちが「お正月のしめ縄づくり」を行い、また子ども同士で仲よく教え合う姿がたくさん見られた。

下関市立内日小学校、
内日中学校



まちづくり協議会、消防団等と連携して、内日地区防災訓練に取り組んでいる。今年度が2回目の実施となり、地域住民の意識も高まってきている。

下関市立川中西小学校、
垢田中学校、川中西幼稚園



幼小中合同の地震・津波対応の避難訓練を行った。小学生は第二避難場所の中学校まで、幼稚園児と一緒に避難した。自治会にも情報提供し、地域の方も避難訓練に参加した。

下関市立小串小学校、夢が丘中学校、
社会福祉協議会



小串小学校子ども福祉教室の「非常食の作り方」講座に、中学生がボランティアとして参加し、地域の方と一緒に、小学生に作り方のアドバイスをした。

下関市立滝部小学校、
県立豊北高校



5・6年生の体育大会に向けての100m走や60mハードル走の練習に豊北高校の体育教諭と生徒を招き、指導していただいた。児童は高校生とのふれあいの中で技能を高めた。